

日本レンゲの会 在京事務局会議報告

2011年8月20日 世田谷区奥沢 事務局

局

出席者 後藤副会長 西村事務局次長 佐藤事務局

長

報告と協議

1. 東京都区内の私立幼稚園でのレンゲ播種の継続
幼稚園と協議の上、佐藤事務局長が訪問して播種
2. 茨城県笠間市橋爪の畑 1000 坪でのレンゲ播種とレンゲまつり
9月3日土曜日 佐藤下見
関係者と協議の上、10月上旬に現地ボランティアと西村・佐藤が播種
種は養本社寄贈の60kgを活用
根粒菌は、室岡大阪大学大学院名誉教授が培養し持参する予定
来春のレンゲまつりの会場にする予定
茨城県出身の大相撲関係者の協力で子ども相撲大会の開催
(今後の推移で、室内にすることも考える)
レンゲの除草効果の確認の圃場としての位置づけ
試食会は行わない
3. 宮城県多賀城市城南地区の山砂の畑での播種の続行
例年通り10月上旬に佐藤が播種
4. 宮城県多賀城市東田中の事務局長自宅での除草効果実験の続行
例年通り10月上旬に佐藤が播種
3と4で種40kg購入、根粒菌は十勝農協から購入
5. 役員・会費納入者等への根粒菌を塗した種の配布の継続
9月24日土曜日14時から事務局において後藤・西村・佐藤で作業
6. 神奈川県大和市下和田での生育の確認の続行
来春の現地行事の際に佐藤が参加し確認
7. 東京都府中市押立での生育と害虫駆除方法の確認の続行
来春の現地行事の際に佐藤が参加し確認
8. 東京都多摩市での新たな試み
9月中に現地の会員・関係者と後藤・西村・佐藤が協議し、10月中旬までに播種する

9. 東京都港区のビル屋上 2 ヲ所でのレンゲの播種を始めること
実施に向けて協議中
1・5・8・9 の企画用として種 40kg を購入、根粒菌は十勝農協から購入
10. 津波被災地での土壌回復にレンゲの活用
日本レンゲの会副会長の土屋雅靖養本社会長（岐阜県）が、日本養蜂はちみつ協会に寄贈した種 5 トンの播種に際し、要請があれば協力する。
協会に佐藤がお伺いして、ミツバチの行動範囲（k m）および蜂蜜の無機物、重金属含有の分析データの提供をお願いする。
室岡名誉教授提案の、「津波で塩分濃度が高くなっている田圃には、レンゲの芽が出た後 5 - A L A（5-アミノレブリン酸）の薄い液（1 0 ~ 1 0 0 p p m）を噴霧してやると、耐塩性が増加します。塩害土壌の稲作にも有効です。5 - A L A は、コスモ石油が生産しています。
(www.cosmobio.co.jp/product/general/products_cri_20050513.asp?entry_id=5221 - キャッシュ。) この 5 - A L A 開発には私が技術指導しましたので、会社に協力を要請することができます。」を佐藤から伝える。
11. 放射性物質除染のためにレンゲの活用
室岡名誉教授提案の実現に向けて協力し、福島県内で農地の提供などの協力者を探す
12. レンゲの普及について
各地での行事を行うことで、蜜源・食料・牧草・緑肥・景観形成作物としてのレンゲの普及に努める

以上